

子育て支援（経済的支援）に幅広い市民が参加できる施策を 池田 公三 議員

質問 ふっさ子育て支援カードよりも更に、幅広く市民が参加できる子育て支援策の取り組みが必要では。
市長 義務教育までの子どもがいる子育て家庭に「子育て支援カード」を発行し、協賛店舗で特典が受けられる子育て支援カード発行事業では利用拡大のための取り組みや協賛店拡大のための未加入店への訪問をしている。この他、保護者の外出時の子どもの預かりや、保育園、学童クラブへの送迎等を低額で利用できるファミリー・サポート・センター事業など、行政・市民一体の子育て支

援事業を引き続き着実に進める。



▲子育て支援カードと協賛店舗フラッグ

性同一性障害と性的少数者の小・中学校での対応について 三原 智子 議員

質問 性同一性障害と性的少数者への小・中学校の対応は。
教育長 文科省通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を踏まえ、対応について全教職員へ周知を行った。児童・生徒や保護者から申し出を受けた場合は、個別の事案に応じ、医療機関等と連携し、学校が心情等に配慮して組織的に対応する。また、「心の相談カード」を配布するなど、各校のスクールカウンセラーや教育相談室の臨床心理士等がより理解者となるよう努め、今後も相談しやす

い環境の充実を進めていく。



▲福生市教育相談室「心の相談カード」

市政世論調査基地容認 85%という結果等について 奥富 喜一 議員

質問 基地肯定派が圧倒的多数の一方、基地騒音が人口流出原因トップの現状をどう捉え対策を考えるか。
市長 これまで騒音防止や安全対策等を国や米軍に要請し、5市1町でも連携し要請してきた。市政世論調査では基地肯定派が85.2%と高い割合を占めた。定住意向に関する質問で「転居したい」は10.5%にとどまり、移転したい理由の追加質問で「騒音などの公害」が44.2%だった。騒音などの公害の原因は航空機のほか、振動や大気汚染等も含まれる。市民の平穏で安全安心な日常生活の

確保に向け、引き続き強く要請する。

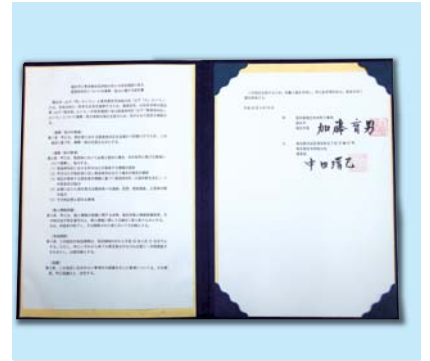


▲市政世論調査報告書（平成27年11月発行）

よりの確な安否確認対応に向けた取り組みについて 青木 健 議員

質問 東京都住宅供給公社との安否確認に係る協定を積極的に締結すべきと考えるが、市の対応は。
市長 福祉保健部介護福祉課が主担当となって、様々な機関へ高齢者等の見守りのお願いをしている。多くの高齢者が居住している東京都住宅供給公社からは、平成28年2月18日に居住者の安否確認、見守り体制の強化について協定を締結したいとお話をいただいている。まだ、協定は締結してないが、協力しながら居住者の安否確認を実施してきた経緯もあるので、準備を進

めている。



▲3月24日に締結した東京都住宅供給公社との安否確認に係る緊急時対応についての協定書

英語教育の推進について 原田 剛 議員

質問 東京都教育委員会の施策や予算を活用した英語教育の推進について何う。
教育長 都は、都内10区市町村を「英語教育推進地域」に指定し小学校英語教科化に向けた支援を行う予定。さらに指定地域を含め26地域に、小学校英語教育推進のための専任教員に「英語教育推進リーダー」を配置予定。本市は既に指定申請を行い、同リーダーの候補者を推薦した。「福生市英語教育推進計画」にも「国・東京都事業の活用」を明記し、今後も国や都との連携を密にしつづ

本市独自の英語教育を推進していく。



▲ALTを活用した英語教育の様子（福生第二中学校）

外国人に的確な情報を伝える取り組みについて 五十嵐みさ 議員

質問 外国人に的確な情報を伝える取り組みの進捗を含め所見を何う。
市長 多言語が話せる職員の総合窓口課配置や通訳者の派遣、「外国人のための生活便利帳」発行等を行い、多言語版「防災マップ、多摩川洪水・内水ハザードマップ」を転入者に配布している。日本語が話せない児童・生徒には日本語学級や指導補助員等で対応している。通訳の人材バンクの市での直接設置は現状困難だが、各種団体等と意見交換し事業化を検討する。外国人住民への生活支援として職員の研修、平易な日

本語や外国語の情報提供等を進める。



▲外国語で表記している福生市ごみ・リサイクルカレンダー

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成28年第2回定例会は、6月7日(火)から6月24日(金)までを予定しています。

◆本会議（予定）午前10時開会

6月7日（火）～6月10日（金）及び6月24日（金）

◆常任委員会（予定）午前10時開会

6月14日（火）～16日（木）

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

平成28年第1回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ62人
- ・インターネット議会中継閲覧数（3月1日～3月29日）延べ455件

インターロッキングブロックの根上り防止工法について 堀 雄一朗 議員

質問 横浜市が取り入れた工法が広がりを見せているが、市の考えは。
市長 公園等では、巨木の根上りによりインターロッキングブロック舗装や縁石が持ち上げられるため、根上り部分を掘削して根を切除し、舗装面を平らにしている。議員紹介の工法は、舗装の下部に特殊な土壌を設置して根上りを抑制し、安全確保と既存樹木の良好な生育を図るものだ。従来の単純に根を切った後舗装だけを打ち換える方法とは異なり、深く根を伸ばすことができ、根上り防止効果があるとのことで、試験的

実施を検討したい。



▲日光橋公園内の樹木根上りの様子